

図書館通信

令和4年7月19日(火) No.1 松山学院高等学校 管理部 図書・研修課

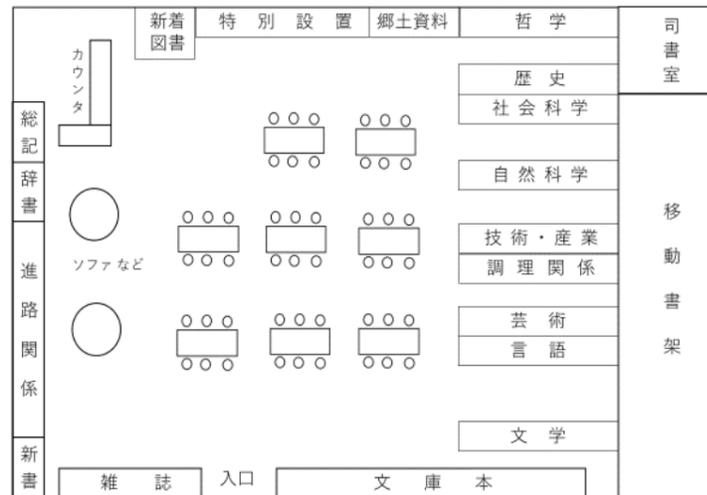


図書館へようこそ!

今年度も図書館が開館しました。

図書館の利用についてご案内します。

図書館内配置図

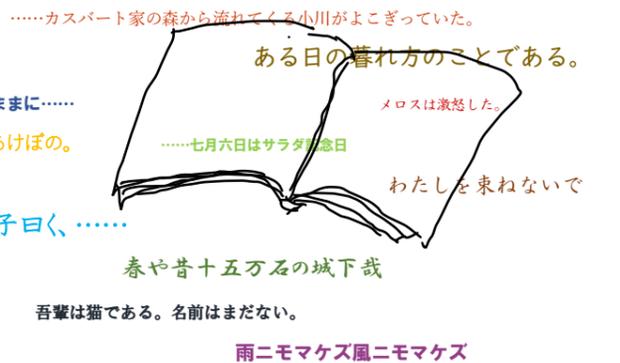


開館時間

- 昼休み(月) 13:15~13:30
- 昼休み(火~金) 12:55~13:10
- 放課後(火~金) 放課~16:45
- (月曜日の放課後は閉館)
- ※貸し出しの受付は、閉館の10分前までです。

~利用にあたっての注意~

- 入室後は静かに過ごす。
- 飲食物の持ち込みは厳禁。
ガムやアメも口にしない。つれづれなるままに……
- 本や備品を汚さない。春はあげぼの。
- 本、雑誌等の持ち出しは禁止。
- 本を借りるときや返すときは、カウンターで手続きをする。子曰く、……
- 利用した本は、もとあった場所に正しく戻す。春や昔十五万石の城下哉



午後の授業や特別な行事のために、学外から先生方をお呼びすることもあります。そのような場合には、図書館が控室になるために、閉館となります。

夏季休暇中に本を読んでみませんか。

まとまったお休みでないと、なかなか本も読めないのではないのでしょうか。

そこで、図書館担当の先生方からの、おすすめの本の紹介です。

『風の歌を聞け』 (講談社文庫)

故郷の街に帰ってきた「僕」は、友人の「鼠」と夏を過ごす。ジェイズ・バーでフライド・ポテトを食べたり、とぼけたDJ(犬の漫才師)のラジオを聴いたり、と気楽な日々。そんなある日、「僕」は、小指のない女の子と知り合いになる。彼女との交流をきっかけに、「僕」の日常に変化が起きはじめて……。青春小説の傑作とも言える村上春樹のデビュー作。会話文が多用された、読みやすくおしゃべりな文体が特徴。「カリフォルニア・ガールズ」を聴きなくなったり、ホット・ケーキにコーラを注ぎなくなったりと、出てくる音楽や食べ物も魅力的。

村上春樹

『天使のみつつけ方』 (新潮文庫)

日常生活の何気ない出来事の中で天使を見つけるコツが書かれています。心の持ち方ひとつで、目に見える風景が違ったものになる……。ちょっと疲れた時や気分が沈みがちな時に、前向きな気持ちにしてくれる本です。かわいいイラストにも癒されます。

おーなり由子



『アルケミスト』 (地湧社) (角川文庫)

スペインの片田舎に暮らす羊飼いの少年サンチャゴは、自分の見た夢に従ってエジプトへ宝物を探す旅に出る。シブシーの女や王様、錬金術師たちに出会い、多くの経験を経た後に彼がたどり着いた場所とは……!? 人生とは何か、夢を追うことの意味とは何か。優しい語り口のファンタジーですが、大変示唆に富んだ珠玉の名作です。

パウロ・コエーリョ

『博士の愛した数式』 (新潮文庫)

家政婦の「私」は、数学者の「博士」のもとで、働くようになる。90分しか記憶を保てない「博士」は、服にたくさんのメモを貼り付けていた。数字の話になると熱中してしまう博士だが、子供が大好きで、「私」の息子である「√」と交流するようになる。ある日、「私」と「√」は、「博士」の誕生日を祝おうとするが……すっかりメジャーとなった「本屋大賞」の第1回受賞作。特殊な設定を与えられた「博士」には、人間的な魅力がたくさんあり、物語に引き込まれる。博士と「私」、そして「√」。3者の間に築かれる関係は、数式のように確かで、そして美しい。

小川洋子